

一般社団法人 国際社会福祉協議会日本国委員会

平成 26 年度事業報告

1. ICSW 本部、北東アジア地域、その他各国会員との連携強化

(1) ICSW 北東アジア地域 (NEA) ニュースレター

ICSW北東アジア地域 (NEA/日本・韓国・台湾・香港により構成) では、2014 年度より、ニュースレターを年2回発行 (WEB配信) することとなった。

ニュースレターの編集には、NEAの各国代表ならびにセルゲイ国際社会福祉協議会常務理事によって構成される編集委員会があたりこととされ、本会からは、山田常務理事が編集委員として参画している (編集長はMs. Belinda Hui (許勁暉) 香港社會服務聯會チーフオフィサー)。

第1号は2014年5月に配信され、主たる内容は以下のとおりである。日本からは、特集Ⅱに寄稿したほか、統計情報等を提供した。

* ICSW NEA ニュースレター第 1 号

「創刊に寄せて」車興奉 (ICSW 北東アジア地域会長)

「特集Ⅰ：北東アジア地域における高齢化の傾向と統計」(統計情報の提供)

「特集Ⅱ：北東アジア地域における長期介護 (LTC) 制度」

(日本の状況について寄稿)

「社会保護フロア・イニシアチブ (SPFI)」

「イベント案内」

* 第2号は2015年3月末まで発刊準備が進められ、日本からも寄稿等を行った。

(2) ICSW日本国分担金2014年分の拠出

年	A ICSW 本部会費収入 (米ドルで概算)	B = C + D 日本国会費 納入合計	C 国庫 負担金	D 本会 支出
2010 (H22)	105,358.00 (2011 年 4 月現在)	16,768.00	9,000.00	7,768.00
2011 (H23)	96,639.00 (2012 年 4 月現在)	15,264.00	7,632.00	7,632.00
2012 (H24)	99,251.00 (2013 年 4 月現在)	16,096.00	8,048.00	8,048.00

NEA 2013 (H25)	101,969.36 (2014年3月28日現在)	15,995.20	7,997.60	7,997.60
2014 (H26)	88,041.90 (2015年3月20日現在)	17,276.00 (B/A=19.6%)	8,638.00	8,638.00

(単位：US\$)

■ ICSW 会費（分担金）は、国連の会費スケールをベースに加盟団体をカテゴリー化し、口数が定められている。日本は最も高いグループに属し、16口を分担している。

■ ICSW の分担金 1 口の金額は物価スライドにより、毎年、若干異なる。

(2010 年基準額：1048 US\$ /723 €・2014 年基準額 1080 US\$/788 €)

■ 日本国分担金（16 口）を日本国委員会・厚生労働省で折半して納入している。

■ 参考：2014 年会費本会負担分日本円＝852,893 円（2014 年は€で納入）

2. 2014 年 ICSW 世界会議等への参加

2014 年は 2 年ごとに開催される国際社会福祉協議会（ICSW）、国際ソーシャルワーク学校連盟（IASSW）、国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）の 3 団体による合同世界会議開催年であった。同時期に合同世界会議のほか、ICSW 総会、ICSW 北東アジア地域会議等が開催され、日本からは高井理事長・山田秀昭常務理事ほかが参加した。

合同世界会議には約 80 か国より 3,000 人の参加を得て、健康、障害、メンタルヘルス（精神保健）、児童・家族福祉、ジェンダー、人権、移住、難民など、現代社会の様々な課題について、約 800 の発表・セッションが行われ、活発な議論が交わされた。

(1) 合同世界会議

(国際社会福祉協議会（ICSW）、国際ソーシャルワーク学校連盟（IASSW）、国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）の 3 団体共催による)

①開催日程：2014 年 7 月 9 日～12 日

②開催地：オーストラリア・メルボルン

コンベンション&エキジビション・センター

③メインテーマ：「社会的、経済的平等の促進：ソーシャルワークおよび社会開発からの回答」

(2) ICSW 総会

①開催日程：2014 年 7 月 12 日

②開催地：オーストラリア・メルボルン

コンベンション&エキジビション・センター

③主な内容：各地域会長の紹介／財政問題に関する討議／副会長の選出／
2018年世界会議の開催について／2016年合同世界会議（韓国）
について

④日本からの参加者：高井康行 ICSW 日本国委員会理事長
山田秀昭 “ 常務理事（ほかオブザーバー2名）

3. 2014年 ICSW 北東アジア地域（NEA）総会ならびに同会議への参加

ICSW 北東アジア地域メンバー間の社会福祉分野における課題および社会保護フロア拡大に向けた課題について意見交換を行うことを目的に、ICSW 世界会議の開催にあわせて ICSW 北東アジア地域（NEA）会議が開催された。

本会からは高井理事長、山田常務理事が出席し、各国の社会福祉の課題等について意見交換を行った。

【会議概要】

(1) 主 催：韓国社会福祉協議会

(2) 日 程：2014年7月11日（金）

(3) 会議参加者：14 名

[韓国 4（2）名／日本 4（2）名／台湾 3（2）名／香港 3（1）名]

*（ ）内はオブザーバー数

(4) 主な会議内容

1) 各国からの報告

- | | |
|-----------------|---|
| ① 日本（JNC/ICSW） | 高井 康行 ICSW 日本国委員会理事長 |
| ② 台湾（ICSW 台湾） | Dr. Betty Weng ICSW 台湾事務局長 |
| ③ 香港（香港社會服務聯會） | Mr. Chua Hoi Wai
香港社會服務聯會行政總裁 |
| ④ 韓国（韓国社会福祉協議会） | Dr. Heung Bong Cha Ph. D
韓国社会福祉協議会会長 |

2) NEA 地域活動報告 車 ICSW 北東アジア地域会長

3) 討議テーマ

- ① NEA 役員改選について
- ② 中国のメンバーシップ問題について
- ③ 本部からの還元金について
- ④ NEA ニュースレターについて
- ⑤ 2015 年の NEA 地域会議開催地について
- ⑥ 2016 年合同世界会議（韓国）の開催について

4. ICSW 北東アジア地域（NEA）との連携

ICSW北東アジア地域（NEA）関係団体より、日本の現状報告等の発表者の推薦（コーディネート）の要望を受け、以下のとおり対応した。

①財団法人台湾兒童暨家庭扶助基金會よりの依頼

「2014 International Conference on Children & Youth Carers（ケアを提供している青少年に関する国際会議）」における報告者

開催日：2014年9月2日

会 場：台北（国立公共資訊圖書館 National Library of Public Information）

報告者：松本伊智朗 北海道大学教授

テーマ：「日本における子どもの貧困～現状・論点・課題～」

②香港社會服務聯會（Hong Kong Council of Social Service）よりの依頼

「Regional Conference on Cross-Boundary Family in Asia（アジアにおける 越境家族に関する地域会議〈国際家族年20周年記念〉）」における報告者推薦

開催日：2014年11月25日

会 場：香港社會服務聯會講堂

報告者：フランク・オカンボス 一粒会 ファミリーセンター・ヴィオラ
ソーシャルワーカー/相談員

報告テーマ：「越境家族政策・サービス・実践—日本の経験から」

5. 国内外への社会福祉情報の提供

＊国内外向けのそれぞれホームページの基本情報を更新した。

＊国内に向けて、ICSW のニュースレター「グローバル・コーポレーション」（英字版及び日本語版）ならびに「ICSW NEA ニュースレター」（英字版及び日本語版）などの掲載を行った。

＊海外に向けて本会活動などの日本の社会福祉情報の提供を行った。

6. 本会の運営にかかわる会議の開催

（1）社員総会の開催

第 5 回：平成 26 年 6 月 5 日（於：全国社会福祉協議会特別会議室）

第 6 回：平成 27 年 3 月 25 日（於：全国社会福祉協議会特別会議室）

（2）理事会の開催

第 7 回：平成 26 年 5 月 19 日（於：全国社会福祉協議会特別会議室）

第 8 回：平成 26 年 6 月 5 日（於：全国社会福祉協議会特別会議室）

第 9 回：平成 27 年 3 月 11 日（於：全国社会福祉協議会特別会議室）

(3) 監事会の開催

平成 26 年 5 月 15 日（於：全国社会福祉協議会第六会議室）